平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| 科目名(英) | スポーツ経営学(Sports management) | | 授業コード | E039451 | |
|-------------------|---|-----------|-----------------|---------|--|
| 担当教員名 | 竹田 隆行 | | 科目ナンバリン グコード | E20702 | |
| 配当学年 | 2 | 開講期 | 後期 | | |
| 必修•選択区分 | コース必修 スポーツビジネスコース 選択 地域マネジメントコース Bソリューションコース 会計ファイナンスコース 福祉マネジメントコース こども・福祉コース | 単位数 | 2 | | |
| 履修上の注意また は履修条件 | スポーツ産業論6を教科書として使用します。他の科目を履修していなくても、この科目だけで理解ができる内容になっています。 | | | | |
| 受講心得 | 手ぶらで講義に出席しない。事前に教科書を読んでおくこと。スポーツに対しては、各人がそれ ぞれのこだわり、考え方を持っています。こだわりは必要ですが、そこから新しい考えは生まれて きません。ゼロベースで物事を考える重要性を学んでもらいたい。 | | | | |
| 教科書 | スポーツ産業論 第6版(杏林書院) | | | | |
| 参考文献及び指定 図書 | スポーツマーケティング(大修館書店)、スポーツマーケティング入門(秀和システム) | | | | |
| 関連科目 | スポーツビジネス・マネジメント概論、、 | スポーツリテラシー | IV | | |

| 授業の目的 | スポーツを楽しむ人々の年齢層が広がるとともに、スポーツやレジャーを楽しむ場所や機会が飛躍的に増大しました。しかしながら、実際にスポーツを楽しんでいる人たちはわずかです。需要と供給のミスマッチをコーディネイトできる人材がいないのが問題です。スポーツの場にも経営的センスを持った人材が求められています。 本講義では、スポーツ経営学とは何かを学習します。習得した知識をビジネスの場で適応、応用できる技術として身につけることを目的とします。 |
|-------|---|
| 授業の概要 | スポーツ経営学(スポーツマネジメント)の理論と実践(ケーススタディ)について学びます。スポーツ産業論6版の第Ⅲ部の内容を説明します。 |

| 〇授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第1週:〇第1回 スポーツを取り巻く環境の変化 | 予習(教科書:第1章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツ産業の構造についてまとめる)2h |
| スポーツを取り巻く環境の変化について説明します。わが国におけるスポーツの発展の歴史を振り返るとともに今後のスポーツについて考えます。 | |
| 第2週: 〇第2回 スポーツ経営学とは | 予習(教科書:第1章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツ経営の特徴についてまとめる)2h |
| スポーツ経営学の特徴について説明します。一般の経営学との違いについて説明します。スポーツ特有のビジネスをモデルがあることを理解します。 | |

| 第3週: 〇第3回 スポーツ経営の基本構造 予習(教科書: 読。専門用語(くこと) 復習(スポーツ方についてまとれて) スポーツ組織が行う経営の基本構造について説明します。スポーツ組織も企業と同じく | 等を調べてお |
|--|------------------|
| | |
| 経営資源を用いて消費者のために事業を行います。その仕組みを学びます。 | |
| 第4週: 〇第4回 経営戦略1 予習(教科書: 読。専門用語(くこと) 復習(スポーツ 構造をついて記 | 等を調べてお ノ経営の基本 |
| スポーツ経営の戦略について説明します。スポーツ経営(スポーツマネジメント)とは、スポーツ組織の事業活動がどうすれば理念を達成するための考え方であり手段を学びます。 | |
| 第5週: 〇第5回 経営戦略2 予習(教科書: 読。専門用語等 くこと) 復習(スポーツについてまとめ) | 等を調べてお ノ経営の理念 |
| スポーツ経営の戦略について説明します。スポーツ組織が理念を達成するためには、経営戦略が必要です。スポーツ事業を行う事業領域の設定が必要なこと学びます。 | |
| 第6週: 〇第6回 スポーツ組織のマネジメント 予習(教科書: 読。専門用語等 くこと) 復習(スポーツ についてまとば | 等を調べてお ノ組織の経営 |
| スポーツ組織が、事業を行うにはPDCAサイクルが必要になります。事業を実行するには、意思決定が重要です。意思決定を行うに当たって役立つ手法を紹介します。 | , , |
| 第7週: 〇第7回 公共スポーツ施設のマネジメント 予習(教科書: 読。専門用語等 くこと) 復習(公共スポーツでまとば | 等を調べてお ポーツの経営 |
| 公共スポーツ施設におけるマーケティングの進展と民営化について説明します。アメリカ、ヨーロッパのスポーツ施設の事例をもとに我が国の公共スポーツ施設の在り方について学びます。 | |
| 第8週: 〇第8回 フィットネスクラブのマネジメント 予習(教科書: 読。専門用語等 (こと) 復習(フィットネ 経営について ま | 等を調べてお ベスクラブの |
| フィットネス産業の動向とフィットネスクラブ事業の特徴を説明します。スタジオ、ジム、マシンの基本形態から顧客に合わせた多様化するフィットネススポーツクラブの変化を学 びます。 | |
| 第9週: 〇第9回 クラブ事業のマネジメント 予習(教科書: 読。専門用語等 くこと) 復習(クラブの てまとめる) 2h | 等を調べてお 経営につい |
| クラブ事業の特性について説明します。クラブ事業は、内部のステークホルダーと外部 のステークホルダーの存在の理解とその関係構築が事業の成功につながることを理解 します | |
| 第10週: 〇第10回 スポーツイベントと集客戦略 予習(教科書: 読。専門用語等 くこと) 復習(スポーツ | 等を調べてお |

| | ついて説明します。スポーツイベントを 屋することが重要です。講義では、その | | |
|-------------------------|---|----------|---|
| 第11週: 〇第11回 | スポーツとファイナンス1 | | 予習(教科書:第14章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツファイナンスの特徴についてまとめる) 2h |
| | 系的な自立への指向をするようになっ ソ組織の自立には、ファイナンスとマ- | | |
| | スポーツスファイナンス2 | | 予習(教科書:第14章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツファイナンスの問題点についてまとめる)2h |
| | ノスの特性をコーポレートファイナンス の課題を指摘し、その解決方法を考え | | |
| 第13週: 〇第13回 | 第13週:〇第13回 スポーツスポンサーシップ1 | | 予習(教科書:第15章を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツスポンサーシップについてまとめる)2h |
| | ーシップの特徴を説明します。スポン ーケティング活動であることを理解し | | |
| 第14週: 〇第14回 | スポーツ・スポンサーシップ2 | | 予習(教科書:第15章を熟 読。専門用語等を調べてお くこと) 復習(長期的な関係構築に ついてまとめる)2h |
| | の現状を説明します。企業が求めるス レップの効果をCSRの視点で考えます | | |
| 第15週: 〇第15回 | スポーツマネジメント | | 予習(教科書:Ⅲ部を熟読。専門用語等を調べておくこと) 復習(スポーツ経営の現状と課題についてまとめる) 2h |
| れまでの講義内容を す。 | トとは、スポーツとマネジメントの2つ0 そもとにスポーツマネジメントとは何か | | |
| 第16週: 期末試験 これまでの講義内容 | Pを試験範囲とします。試験時間は60 | 一一一一一 | 試験準備 教科書・ノートの確認 |
| | (1)授業の形式 | 「講義形式」 | 1 |
| 授業の運営方法 | (2)複数担当の場合の方式 | <u> </u> | |
| | (3)アクティブ・ラーニング | | |
| 地域志向科目 | 該当しない | | |
| 備考 | ··· · · · · · · · | | |
| P10 1 W | | | |

〇単位を修得するために達成すべき到達目標 【関心・意欲・態度】 スポーツ経営学(マネジメント)に必要な知識や倫理観を身に付けるとともに、目的意識を持って自発的に学習する能力を身につける。 スポーツ経営学(マネジメント)の専門的・実践的知識を習得し、それらを総合・活用して問題解決を図るリテラシーを身につける。

| 【技能・表現・コミュニ ケーション】 | |
|-----------------------|--|
| 【思考·判断·創 造】 | 変容する社会において、多角的に考察・分析し、スポーツビジネスの現場で課題解決できるマネジメント能力を活かし、新たな価値創造にチャレンジする能力を身につける。 |

| 〇成績評価基準(合計100点) | | | 合計欄 | 100点 |
|---|---------------------|-------------------|------------------|------|
| 到達目標の各観点と成績評 価方法の関係および配点 | 期末試験・中間確認等 (テスト) | レポート・作品等 (提出物) | 発表・その他 (無形成果) | |
| 【 関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」 を含む。 | 10点 | | | |
| 【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | 60点 | | | |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | | | | |
| 【 思考・判断・創造】 ※「考え抜くカ」を含む。 | 30点 | | | |

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

| 〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安 | | |
|------------------------------------|-----------------|--|
| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 | |
| レポート・作品等 (提出物) | | |
| 発表・その他 (無形成果) | | |